

資料提供

令和6年3月4日

茨城県防災・危機管理部防災・危機管理課

担当者：小林 武史（いばらき学ぼうさい）

電話：029-301-2885 県庁内線 2882

担当者：小林 敦（東日本大震災記録資料展示会）

電話：029-301-2879 県庁内線 2881

防災関連行事について（お知らせ）

東日本大震災から13年目となります。今月において、防災啓発のため、下記のとおり防災関連行事を開催しますので、取材等お願いいたします。

記

1 いばらき学ぼうさい

日時	令和6年3月9日（土）10時～16時
場所	イオンモール水戸内原 1階メインコート等
内容	地震などの災害に対する「備え」を啓発 避難所体験 備蓄品の準備

2 東日本大震災記録資料展示会

日時	令和6年3月9日（土）～3月20日（水・祝日） 8時30分～17時（土日・祝日は10時～17時）
場所	県庁舎2階 県政広報コーナー
内容	東日本大震災記録資料の展示 （展示品）地震被害のパネル、地震で止まった時計等

<お問い合わせ>

防災・危機管理部防災・危機管理課

防災G 小林、石崎

TEL 029(301)2885

防災啓発イベント「いばらき^{まな}学ぼうさい」を開催します！

近年、日本全国の各地で災害による被害が発生しています。自然災害の発生を防ぐことはできませんが、私たちは日頃から「災害への備え」をすることができます。

そこで、県では、住民の防災に関する意識向上を図るため、イオンモール水戸内原のご協力のもと、防災啓発イベントである「いばらき学ぼうさい」を開催いたします。

1 日時・場所

令和6年3月9日（土）10時から16時まで

イオンモール水戸内原（1階メインコートほか）

2 参加機関

茨城県、イオンモール水戸内原、那珂市、水戸地方气象台、日本損害保険協会、防災専門図書館、水戸市消防局、自衛隊茨城地方協力隊

3 主なイベント内容

（1）首都直下地震のVR体験【初】

- ・首都直下地震時に想定される被害や住民に求められる行動をバーチャル体験

（2）地震保険の紹介【初】

- ・地震保険の加入方法や補償内容を紹介

（3）消防団について【初】

- ・消防団の役割や活動を紹介

（4）避難所体験

- ・災害時に実際に避難所で使われている簡易テントや段ボールベッド等を体験できます。

（5）地震・津波のしくみの解説

- ・実験装置や動画等を用いて、地震発生の仕組み等を解説

（6）マイ・タイムライン作成ワークショップ

- ・ハザードマップの見方や、個人の避難行動計画である「マイ・タイムライン」の作成方法を学ぶワークショップ

（7）防災かるたクイズ

- ・かるたを用いた防災に関するクイズに挑戦

（8）備蓄品の展示、耐震化対策の紹介

- ・防災備蓄品の展示や建物の耐震化対策などについて紹介

<過去のイベントの様子>



ステージイベント



避難所体験

※その他複数のブースあり

※イベント内容は予定であり、諸事情により内容が変更になることもあります。

※【初】は、本イベントでは初めて実施するものです。

東日本大震災記録資料展示会について（お知らせ）

東日本大震災からまもなく 13 年を迎えますが、震災の記憶や経験の風化を防ぎ、後世に引き継いでもらうため、下記のとおり「東日本大震災記録資料展示会」を開催します。

記

1 日 時 令和6年3月9日（土）～21日（木）
8時30分～17時（土日・祝日は10時～17時）

2 会 場 県庁舎2階 県政広報コーナー
水戸市笠原町978-6

3 内 容

展示物等	内 容	
パネル展示	地震・津波・液状化による被害、避難行動の様子、復旧・支援活動の様子、日頃の備え等	・写真 105 枚 ・パネル 23 点
映像放映	堤防を越える津波（北茨城市）等	・記録誌 17 点 ・その他 20 点
物品、書籍、体験談展示	地震で止まった時計、地震で割れたガラス、市町村で作成した記録誌、個人等から収集した体験談、防災グッズ 等	計 165 点程度



参考

東日本大震災の茨城県内の被害状況

1 人的被害（令和6年3月1日現在）

・直接死	24名
・行方不明	1名
・災害関連死	42名
<hr/>	
死者・行方不明者計	67名

・負傷者	714名
------	------

2 住宅被害等（令和6年3月1日現在）

・全壊	2,637棟
・半壊	25,054棟
・一部損壊	190,532棟
・床上浸水	33棟
・床下浸水	610棟

3 避難者（令和6年2月1日現在）

茨城県内へ避難している方	2,330名
うち福島県	2,322名
うち岩手県	8名